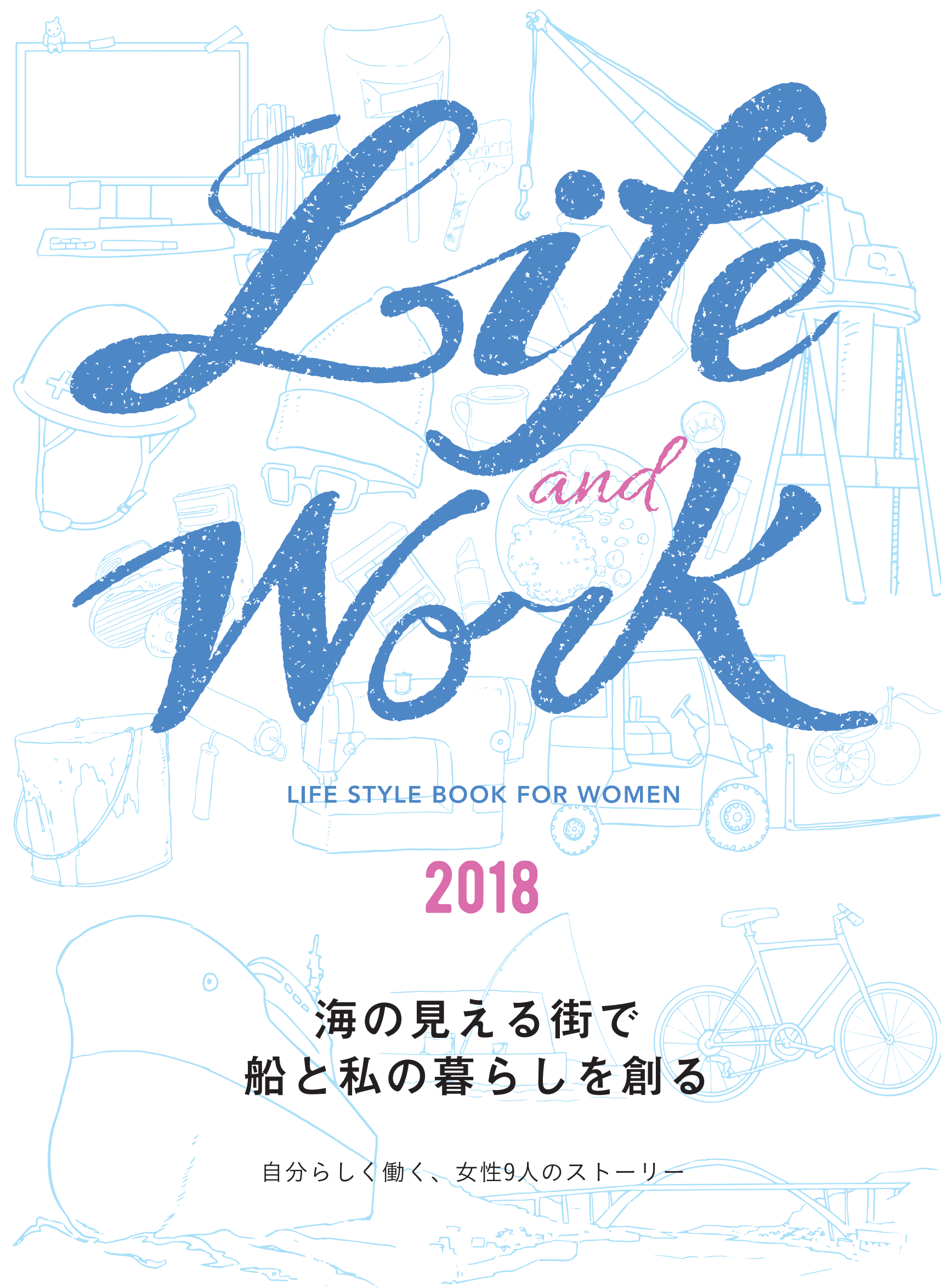


Presented by nichizokyo

Supported by  日本 THE NIPPON
財団 FOUNDATION



企画：発行 一般社団法人日本造船協力事業者団体連合会 TEL 03-5510-3161

*May your life be
full of happiness!!* 

ご協力頂いた企業さま

(株) いたに工業 〒737-1201 広島県呉市音戸町坪井2-15-13 TEL (0823) 52-1463 / イワキテック(株) 因島工場 〒722-2102 広島県尾道市因島重井町474-7 TEL (0845) 25-1145

(株) 大之木ダイモ 〒737-0027 広島県呉市昭和町2-1 TEL (0823) 25-6530 / (株) 岡本製作所 〒722-2102 広島県尾道市因島重井町474-3 TEL (0845) 25-1188

山丸(株) 〒706-0012 岡山県玉野市玉3-1-9 TEL (0863) 32-3911 / 三友興業(株) 〒706-0012 岡山県玉野市玉3-1-9 TEL (0863) 32-2111

ソーワエンジニアリング(株) 〒658-0025 兵庫県神戸市東灘区魚崎南町2-8-28 TEL (078) 452-6431 / 大同塗装(株) 〒706-0012 岡山県玉野市玉3-1-1 TEL (0863) 21-2523

(有) 平山保温工業所 〒706-0012 岡山県玉野市玉3-1-1 TEL (0863) 31-5225



海に見える街で 船と私の暮らしを創る

自分らしく働く、女性9人のストーリー

少し高台に上がれば、美しい小島が浮かぶ穏やかな瀬戸内海。静かな波が寄せては返す沿岸の町では、100年以上も前から、世界中を航海する船が造られています。造船所の仕事は朝8時から夕方まで。

波のリズムのように規則正しく。

フェリーや貨物船。そんな大きな船を見たのは、いつのことだっただろう。子供のころの記憶だから大きく感じるのではなく、いま見ている船体の部品ですらあの大きな船の一部だということに圧倒された。それが初めて訪れた造船所の印象でした。

今回訪ねたのは、瀬戸内海沿岸にある「株式会社三井E&Sホールディングス玉野工場」「因島鉄工業団地」「ジャパンマリンユナイテッド(株)呉事業所」という3つの造船所です。いずれも造船所が町の一部となっており、100年以上も人々の暮らしの中心にあります。

ところで造船所の仕事にどんなイメージを持っていますか？作業服の男性たちが大きな鉄板をクレーンで運ぶ大変な仕事。それもひとつの側面かもしれません。でも今回出会った9名の女性たちは、

小さなピアスを耳につけていたり、かわいいキャラグッズでデスクを彩ったり。そう、彼女たちにとって造船所は特別な職場ではなく、みなさんの思う「普通の職場」なのです。

とはいえ、仕事は人それぞれ。現場で溶接職人を目指す人もいれば、パソコンのスキルを仕事に活かす人もいます。多岐に渡る職種の中から自分に合う仕事を見つけて働き、休みには足を延ばして都会とのデュアルライフを楽しんだり、家族との時間や豊かな自然を満喫したり。意外かもしれませんが、いまの時代、当たり前ではなくなったことが充実しているのが、造船所での働き方なのです。9人9色の女性たちが語ってくれた、仕事と暮らし。あなたのこれからの人生航路の羅針盤になればいいなと思っています。



WRITER

設計から部品にいたるまで
船を造るのは家作りのようでした！

ライター 村岡利恵

大阪出身。女性誌やライフスタイル誌を中心に雑誌編集の仕事に携わる。海辺暮らしが長かったが、2015年秋に長野県に移住。現在は登山とスキーをしながら、北アルプス山麓で「ヒュッテムムー」という朝食カフェ＆編集スタジオを運営。

仕事に誇りを持ち趣味の時間も
確保できる造船の仕事に目からウロコ

ライター 山本祥子

マガジンハウスの女性誌『CLIQUE』『GINZA』の編集を経て、女性ウェブサイトのさきがけCafeglobe.comで『GQ Japan』『Vogue Nippon』などに人・モノ・旅・暮らしについての執筆・編集に携わる。

通勤は作業服だけど 休日は街でショッピング

「朝はお弁当を作って、17時になったら家に帰って夕食の準備をして」。夫とふたり暮らしの伊東英里子さんは“ゆっくりとした暮らし”をするために、地元高校を卒業後、因島にあるハッチカパー（船の蓋）を製造する企業に就職。配属先はCAMオペレーション。大きな銅板から部品を切り取るためのレイアウトを画面上で作成します。

事務職を希望して入社したところ、専門職に抜擢！実は時間交替での勤務が可能な職種のため、女性が長く働き続けやすいからという会社の配慮によるものでした。

通勤は作業着ですが、靴下はフラミンゴ柄とおしゃれな伊東さん。休日には岡山や福山でショッピングをして楽しむ、等身大の20代女性です。



デスク周りは賑やかです



イワキテック(株) / 伊東 英里子さん



(株)岡本製作所 / 奥川 藍美さん

「女じゃけできない」なんてことはない 子供時代から憧れた、カッコいい船の仕事

火花飛び散る溶接作業を終え防護マスクをはずす、笑顔がチャームな奥川藍美さん。母親からの反対や体育会系出身の負けん気もあって、上手く作業ができないことが悔しかった新人時代。そんな彼女に「わからなかったら聞いたらええ。やってみ。やれたらうれしいじゃろ」と支えてくれたのは、熟練の男性職人たちでした。「女じゃけ(ムリだ)って言われなかったんです」。

そんな彼女の名刺には「PRマネージャー」の肩書きがあります。「男性もみんな優しく、アットホームな職場。だから後輩にも入ってきてもらいたいなって思うんです」。子供時代に憧れた仕事に就き、充実した日々を過ごす奥川さん。彼女なら造船の良さを伝えられるはず、という社長のお墨付きです。

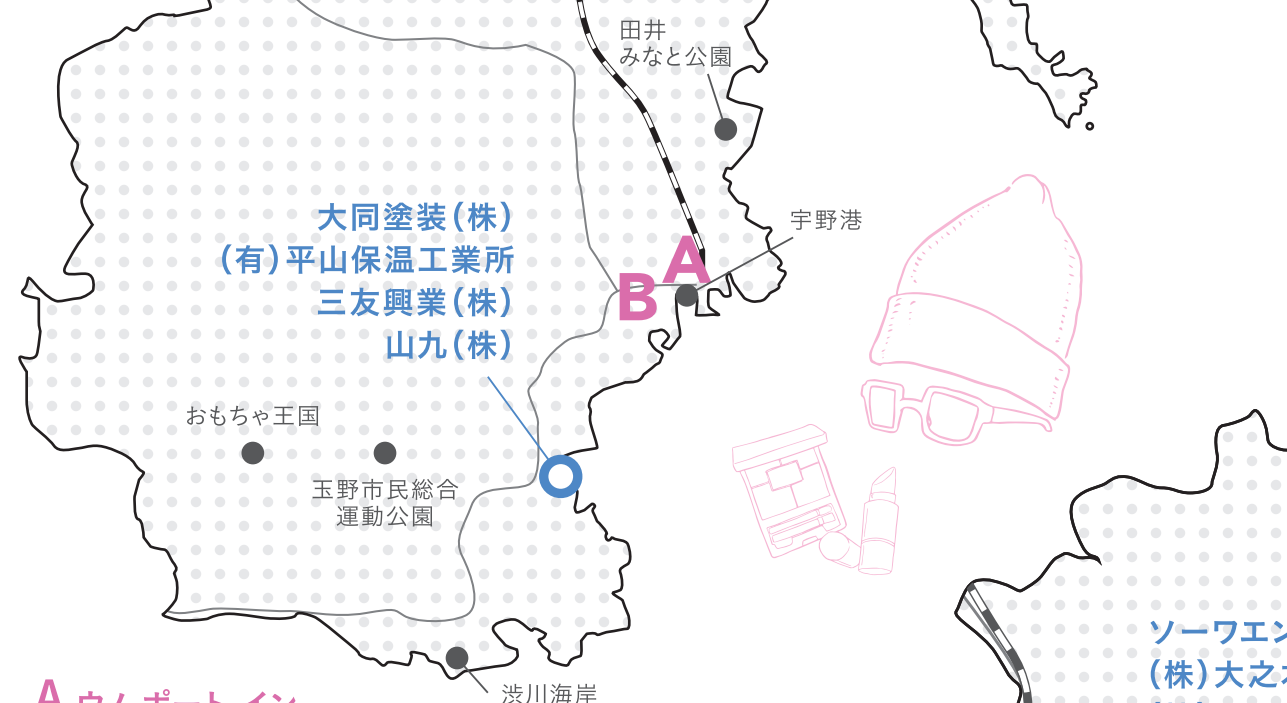


大きな船体の基本となる
ブロックを造る仕事です



Tamano Area

玉野



A.ウノ ポートイン

駅と港から徒歩1分！強く濃く美味しいコーヒーが絶品。朝はモーニング、夜はバーとして営業。手作りペーグルと10種以上の野菜類たっぷりサラダボウルが人気。

〒岡山県玉野市築港1-4-4
☎ 7:30-22:00 (LO 食事 20:30 / ドリンク 21:30)
☎ 無休 ☎ なし
☎ 0863-21-2729

B.casa al mare

ランチは木・金・土のみの限定10食！海辺の料理教室&カフェ。季節の料理を使った月替りメニューで、イタリアンランチや自家製スイーツが楽しめる。

〒岡山県玉野市宇野1-12-7
☎ 月・水カフェのみ 13:00-18:00
木～土ランチあり 12:00-18:00 ☎ 日・火 ☎ あり
☎ 0863-33-3035

C.COFFEE HOUSE レスト

JR呉駅から歩いて100歩未満のお店。「昔懐かしいオムライス」や特製手作りハンバーグ・海軍カレー・大和オムライスが呉っ子に人気！

〒広島県呉市中央1-9-3
☎ 平日 7:30-21:00 / 日祝 7:30-21:00
☎ 不定休 ☎ なし
☎ 0823-24-6589

D.昴珈琲店

1959年創業自家焙煎珈琲豆売り専門店。店内には珈琲鑑定士厳選の高品質で香り高いコーヒー豆が約40種類揃っている。

〒広島県呉市中通2-5-3
☎ 平日 9:00-17:00 ☎ 火 ☎ なし
☎ 0120-02-7730

AREA MAP

過ごす街の 行きつけスポット

それぞれの地域の魅力を感じながら、日々生活しています。
休日に行きたいお気に入りのカフェや地元の人しか知らない場所など、
知れば知るほど住む街が楽しくなってくる♪

ソーワエンジニアリング(株)
(株)大之木ダイモ
(株)いただに工業



Kure Area

呉

イワキテック(株) 因島工場
(株)岡本製作所

因島アムニティ公園
しまなみビーチ

フラワーセンター

瀬戸内しまなみ海道

因島水軍城

因島運動公園

F.はっさく屋

はっさく大福は八朔発祥の地、因島で生まれました。因島伝統のみかん餅とジュシーな八朔が口の中に広がる。

〒広島県尾道市因島大浜町246-1
☎ 8:00-17:00 ☎ 月・火 ☎ 30台
☎ 0845-24-0715

Innoshima Area

因島

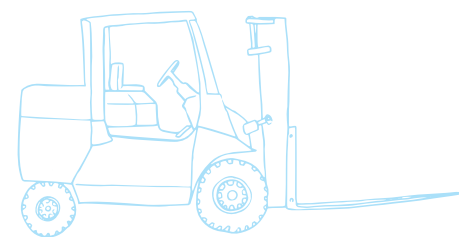
E.しまなみカレー ルリラン

しまなみの旬の魚・野菜で作ったインド人直伝のオリジナルしまなみカレー♪やさしいインドカレーとたのしいコトいろいろ♪

〒広島県尾道市因島土生町1899
☎ 11:00-15:00 / 17:00-22:00 (LO 21:30)
☎ 不定休 ☎ 2台
☎ 050-5583-5146



大同塗装(株) / 柴田 法枝さん



これが
私にとって
仕事の相棒



👑 フォークリフトも自由自在 頼りにされる紅一点

「家庭と子供がいちばん!」。そう言い切る柴田法枝さんは、高校生・中学生・小学生と3人の子育て中。片手で楽々とフォークリフトを操作する姿は、まさに肝っ玉母さんです。フォークリフトの資格もここに勤めてから取得したそう。

そんな柴田さんですが、かつては女性中心の職場で気を遣いすぎたからか、円形脱毛症になったと言います。「今は現場の女性は私だけというのもあって、男性では気付かないことなど意見を言いやすいですね」。ペンキ塗りなどの作業も「きれいだね」と褒められてうれしいと言います。ざっくばらんな性格というのがありますが、若い後輩男子たちからも頼りにされる彼女の存在感は、きっと紅一点という理由だけではないはず。



山九(株) / 岡下 美記さん



ケガ防止に
脚に巻く
こういうのは
工場っぽい

👑 商品包んで気持ちを届ける それは接客業と同じです

袋に部品を詰めてパッキングし発送していく作業。これも造船にまつわる仕事のひとつ。主に大きくて重いものは男性が、小さなものは女性が分担して行います。大きな船も細かな分業により造られています。

岡下美記さんは前職の接客業ではまとまった休みが取れず、夫と愛犬と過ごす時間を求めて転職しました。「黙々とした作業ですが、眼の前にお客様がいらっしゃらなくても商品をお渡しするのは接客業と同じ。きれいに詰めてお届けしています」と話します。工場＝きれいではないイメージだったそうですが、事前に見学会があったので安心して就職できたとのこと。「工場内は体育会系のイメージを持っていましたが、男性従業員はすごく穏やかに作業をこなすし、皆さん親切に教えてくれるので感謝しています。」

TAMANO

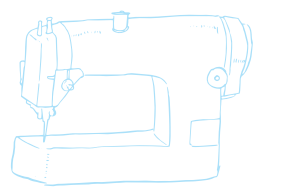
👑 縫うものは変わっても 日々ミシンを踏める楽しみ



(有) 平山保温工業所 / 尾方 京子さん



様々な大きさの
保温材は
すべて手作り

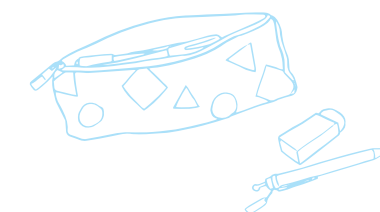


👑 CADで描いた図面が船になる 護衛船の進水式で感動!

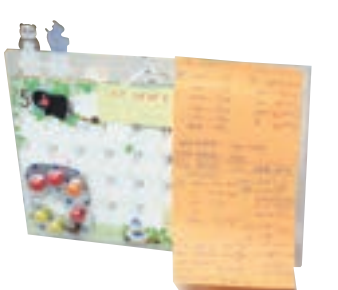
2児の母でもある牧野久美さんはCADオペレーター。30歳になって職業訓練校で技術を学び、この仕事に就きました。きっかけは結婚・出産・子育てという女性ならではの転機。「育休産休の制度がきちんとしている職場を探しました。参観日など子供の行事でも休みが取れます」と家庭と両立して働いています。

そんな牧野さんの願いは「工場に行ってみたい!」。普段はオフィスワークなので現場に行くことはないのですが、護衛艦の進水式を見て、船に興味が沸いたそう。「CADの作業は部屋の配置図を描くようなもの。それが工場はどうやってああいう大きな船になるのか、想像できなくて」。こういった好奇心も、造船業のスケール感だからこそ。

三友興業(株) / 牧野 久美さん



可愛らしい卓上カレンダー
動物たちはちょっとした癒し



INTERVIEW

「ライターの2人が女性の働き方についてインタビューしてきました!!」

■「女性の雇用促進」について、日造船協会として、現状についてお話をいただけますか？

私は24歳から三井造船玉野協会の会員企業で働き、現在は(一社)日本造船協力事業者団体連合会の会長を務めています。実は昔から造船所で働く女性はいらっしゃったんですよ。造船所には実際の製造を担う「現場部門」と事務作業などを行う「間接部門」があります。現場部門は力仕事が多いのですが、その中でも設計など女性が選択できる職種が数多くあります。日造船内でも「軽作業専門の部署を作り、そこを女性専門にしてみても？」という意見もあり、男女の雇用バランスを保とうという声もあります。

私自身の会社の話ですが、「女性社員も男性と同じ評価をきちんとしてほしい」と現場の男性管理職から上がってくるんですよ。それくらいに女性は高い能力を持っている。だから私たちが「あなたはここまでしかできないでしょ？」という線引きをしてはいけなく感じています。

意欲のある女性に活躍してもらえよう、職場環境を整え、応募しやすいようアピールしていきたいと思っています。今回のインタビューのように現場の女性の声も聞くことで、日造船全体での雇用の機運を高めていければと。

■「地域活性化」にも関心をお持ちだそうですが、具体的にどのようなアプローチをお考えですか？

企業城下町なので、仕事があって、収入を得やすい環境にある。それが地域活性化を後押しできると考えています。玉野市で言うと、造船関連企業が100社近くあり、あらゆる職種があります。当社もですが、100周年を迎える会社が何社もあるほど、産業の地盤が固いです。

海があって山があるというようなことは、日本全国の地方がアピールしていますが、「就職に関する心配は絶対ない!」と言えるのが強みです。それに加え、他産業に比べると、造船業は朝8時〜17時勤務で週休2日制、給料も安定しているので、生活基盤を築きやすいんです。また、移住を考える人や女性に対して、その方に合う仕事に導けるくらいの度量が経営者側にもあると思います。



(一社)日本造船協力事業者
団体連合会
会長
前田 和彦さん

■造船は男の世界・キツイ重労働ってイメージですが、女性が入ってやってけますか？

当社は船舶の溶接を請け負っている会社で、溶接の仕事は3年ほどでようやく一人前となる技術職だから、職人さんは互いの技量を大事にしますよ。確かに今までは「造船は男の仕事」という雰囲気があったかもしれませんが、ただ、それは旧日本海軍世代が溶接現場にいた頃の話かと思えます。ここ呉では第二次世界大戦当時、日本海軍の軍艦を作っていた背景がありますが、すでに戦後70年以上経ち世代交代が進みました。むしろ、女性の職人さんが育つことで、新しい時代が始まる期待感が現場にもあります。重労働に関してですが、私の会社では女性を育ててチームを作り、小組(5トン以下の溶接)を任せたいと考えています。天井レーンがついている＝力作業がない現場です。そこを女性だけのチームで運営したいのです。子育て中やシングルマザーなど、人生で同じようなステージに立つ人が一緒だと休みの配分など、相談しやすいですからね。

■ほぼ男性の職場だと、トイレなどに不満がある女性も多いようですが改善策は？

技術者を育てるのには年単位で時間がかかるので、仕事を覚えて育ててくれる女性は、未来を支える「財産」だと考えています。当社だけでなく、造船業全体としても大事な人材なんですよ。技術を覚え資格を取得すると、出産などで一度退職しても再就職に食いつぶれがけない。だからしっかりバックアップします。広島県や呉市も同じ考えです。今考えているのは工場の中に女性専用のトイレ、シャワー、ロッカールーム、昼食場を独立させた棟をすることです。寮もいろんな家族構成を考慮して準備し、防犯カメラなどセキュリティを守る面でも配慮したい。設備だけでなく「女性だけのチーム」や残業なしの時短勤務など、条件面でも女性が働きやすい職場作りが必須だと思います。2019年の春から女性の技術職採用を増やす予定です。現場の職人たちは、技術を伝えていくことに今からワクワクしているようです(笑)。



(株)いただに工業
代表取締役
板谷 勝次さん



KURE

ちょっとした
オシャレも♪



👑 職場では作業着でも 出勤中はデシグアルの服で

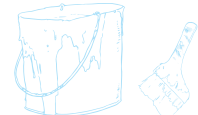
「呉で生まれ育ったので海が大好きで、休日の趣味ももっぱら海釣り。転職して1年です。今は船の塗装(下塗り)の仕事をしています」という蔭山奈美さん。この職場に入るまで現場仕事の経験はなかったそうですが、「先輩で船の仕事をしている女性がいて『時間もきっちり、残業もほぼないし、男性も皆親切よ』と。外から見たイメージと違ってすごく新鮮で『空気が出たら教えてください』とお願いしてて、念願叶っての転職でした」(蔭山さん)

作業中は機能優先の服装ですが、ロングヘアにネイル、エスニックテイストのボッシュットと、作業着の着こなしもことなくおしゃれ。"デシグアル"っていうスペイン発ブランドが大好きで、通勤はそれで。出社後作業着にバツと着替えてとメリハリのある生活を楽しんでいるようです。



ソーワエンジニアリング(株) / 太刀掛 佑華さん

👑 子どもの発熱にも 周りからの温かい助け



塗装が好きで建築現場からスタートし、船舶の塗装にたどり着いたという太刀掛(たちかけ)佑華さん。全体の塗装はスプレーだけれど、塗りきれない部分をはけで細かく塗っていくのが仕事です。船の塗装はインテリアの塗装とは違い、鉄板から何ミリという指定の厚さが必要。塗装の厚さが船の機能を左右するからです。

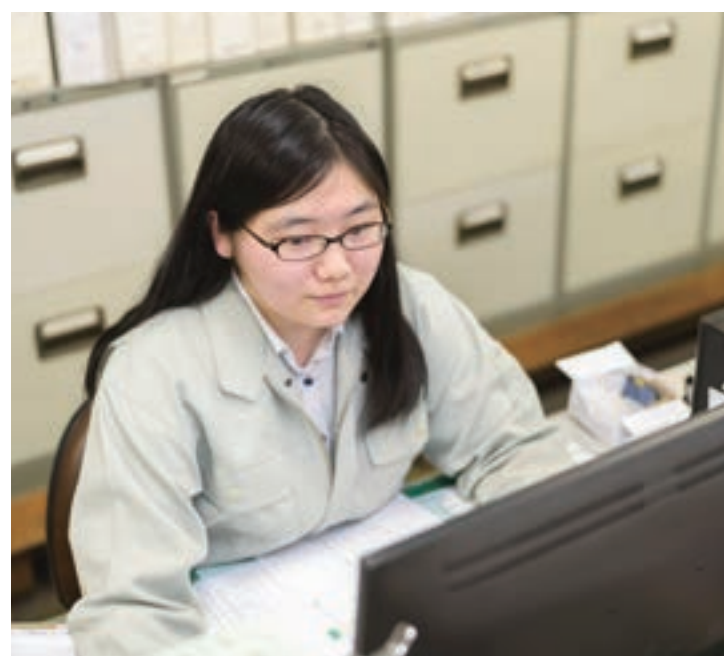
「船の塗装は基準がシビアですが、その分完全にチームワーク。私は4歳の小さい子どもがいるので急な発熱など保育園のお迎えが必要なことも多いけど、チームのみんなが『気にせず帰りなさい』と背中を押してくれる。女性の多い職場だとスツキリせず気になることもあったけど、今ほんとと仕事がやりやすいですよ」



👑 PCスキルを活かす仕事を探したら 造船に辿り着きました

渡された名刺には“船舶事業部”という所属部署名。何をする部署? 「何ヶ月も外洋を航行するタンカーなどの大型船舶には『居住区』という乗務員が生活するエリアがあり、私はその部分のインテリア設計を担当しています」とにこやかに答えてくれた井畝(いせ)さん。広島市内の大学でPCスキルを磨いたのち、予想外の「船の仕事」に。部署的にも初の女性設計担当とあって、冷房の効きすぎなど、とまどいながらも工夫と「意外にはっきり言う性格(笑)」で乗り切っています。

「通勤時間がかかるのももっぱら移動中は『動物の森』っていうソーシャルゲームをしています。船は年単位のプロジェクトなので、コミケなどのイベントで上京するスケジュールも立てやすいです」とプライベートも充実しているようです。 職場のあちこちにがチャイムアイテムが



(株)大之木ダイモ / 井畝 春菜さん